

あがつま

「兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」



(ローマの信徒への手紙 12章1節)

♪ 讃美歌を歌おう⑩ 『はるかに仰ぎ見る』

(讃美歌 488番)

天国を歌ったアメリカの福音唱歌で、日本でも長年にわたって愛唱されています。作者サンフォード・ベネット(1836-98)はアメリカ西部出身で、薬局を営むかたわら軽い聖歌を作り、友人のジョーゼフ・ウェブスター(1819-75)に作曲させて、『sweet-music』として、それらを売り出しました。その中で最もよく歌われたのがこの作品でした。いまや、アメリカの歴史で最も有名なキリスト教の讃美歌のひとつとされています。

ベネットの自伝によれば、不機嫌な顔をしたウェブスターが、ベネットの店にやってきて、何も言わずにストロブにあたっていたとき、突然歌詞のアイデアが思い浮かび、

急いで書き留めた讃美歌詩をウェブスターに渡すと、彼は目を燃やし、バイオリンを持ってメロディーを弾き、十分足らずでコーラスの音符を書き留め、この素晴らしい讃美歌が完成したそうです。

この讃美歌は、『讃美歌21で』は『信じて仰ぎ見る』(111番)として訳し直されて掲載されています。より原歌詞に忠実に翻訳されたという歌詞は、信仰的にはもちろんのこと、日本語的にも素晴らしい内容となつていますので、こちらでも是非賛美してください。

(稲垣真実)

